

平成31年度 学校自主研修事業（特色ある学校づくり） 実施報告

<p>研修先</p>	<p>神奈川県立商工高等学校 神奈川県立平塚商業高等学校 宮城県志津川高等学校</p>
<p>研修日程</p>	<p>令和2年1月27日（月） 神奈川県立商工高等学校 訪問 令和2年1月28日（火） 神奈川県立平塚商業高等学校 訪問 令和2年2月14日（金） 宮城県志津川高等学校 訪問</p>
<p>研修目的</p>	<p>電子商取引の授業において、インターネットを活用して生徒が主体的にビジネスを行う能力や態度を育成する授業づくりに生かしたい。また、震災以降の入学生徒数が減少している本校の魅力ある学校づくりにつなげる一助としたい。</p>
<p>研修内容</p>	<p>【神奈川県立商工高等学校】 1. 学校概要説明 2. 電子商取引年間指導計画等 3. 施設見学 4. 授業担当者より電子商取引の授業について、質疑応答</p> <p>【神奈川県立平塚商業高等学校】 1. 学校概要説明 2. 研究授業参観（科目：電子商取引 学年：2学年） 3. 授業担当者より電子商取引の授業について、質疑応答</p> <p>【宮城県志津川高等学校】 1. 学校概要説明 2. 研究授業参観（科目：電子商取引 学年：2学年） 3. 授業担当者より電子商取引の授業について、質疑応答</p>
<p>学校づくりに 役立てる 具体案</p>	<p>本校に役立つ具体案について 【神奈川県立商工高等学校・神奈川県立平塚商業高等学校】 視察した両校ともに、基本的な電子商取引のスキルを身に付けることを目的としており、商取引を行う前段階のスキルアップとしての授業であると感じられた。そのため、教科書の内容の学習を基本としており、電商くんを活用した仮想取引の学習においては、外部との商取引までは行わず、クラス内の生徒間取引を行っていた。</p> <p>【宮城県志津川高等学校】 授業評価は、知識を問うテストや報告書などの提出物で行っていた。来年度より本校では、3学年の生徒を対象に必修で電子商取引(3単位)の授業を行うことになっている。一斉授業であるため、今回視察した学校を参考に統一した評価を実施しなければならないと感じた。</p>
<p>その他</p>	